

DOYU

あおもり

2022 Mar

3

vol.251



- 02 企業紹介
- 06 委員会活動報告
- 08 共に生きる障がい者問題委員会コラム
- 09 青森県中小企業家同友会 2022新春例会from八戸
- 12 新会員紹介／編集後記

会員企業紹介

【りんご産地の未来を守り、 青森県の未来を創る】

株式会社マルジンサンアップル

代表取締役社長 葛西万博さん

〒036-0114 平川市町居南田170-6
電話：0172-44-2160 FAX：0172-44-2306
ホームページ：https://jinpachi.co.jp/

(株)マルジンサンアップルは平川市に本社を構え、今年2022年で創業74年を迎える。4代目社長の葛西万博氏にりんご卸売業としての課題、今後の目標などお話を伺った。



つながり、人材の発掘を手助けして、紹介してもらい、東京で行われるイベントに

45歳で社長に就任した葛西氏が、長期目標としてまず設定したのは、自身と会社との夢を実現するために自分がいなくてもしつかり回る組織づくりだった。その目標のゴールがある程度見えてきた50歳のとき、60歳までの10年目標として掲げたのは、後継者へのバトンタッチを考え、新規事業への挑戦と、さらに強い組織をつくること。しかし、新たな目標を掲げた直後から社業以外からの依頼が増え、自らが先陣を切って社内新規事業に取り組むことができないという問題に直面。その問題を解決するためには、「仕事に対する情熱と豊富な経験値を持つ人材を確保することが必要」と、頭では理解していたが、どうすればそうした人材と巡り合えるかが分からないまま時間だけが過ぎていた。そんなときに青森県庁やNPO法人の方々と

つながり、人材の発掘を手助けして、紹介してもらい、東京で行われるイベントに参加。そこで全国の同志と出会い、たくさんの人たちに助けられながら行動する中で、現在の「社長の夢具現化担当」の社員さんと巡り合うことになる。

りんご卸売業として、販売面では自社ブランド力の向上はもちろん、りんご業界の有志と共に青森県産品の輸出拡大を目的とした貿易会社「青森トレーディング株式会社」を設立し、海外での青森りんごのファンを増やす活動や新興国市場の開拓などに積極的に取り組み、りんごを中心とした青森県産農産物の輸出を順調に伸ばしている。しかし一方でりんごの作り手の高齢化による生産量の減少や、食の多様化による国内りんご消費量の減少、自社が扱うりんごの大半を産地市場の競売で仕入れているという現状に危機感を抱くようにもなった。より高度なブランドディングを目指すならば、自分たちで土づくりから始めなければストリー性のある商品は生み出せない、と「りんご産地の未来を守り、青森



〒036-0114 青森県平川市町居南田170-6
TEL 0172-44-2160 FAX 0172-44-2306
http://www.jinpachi.co.jp/



会員企業紹介



の未来を創る」というビジョンを掲げた新規事業として農業生産法人「株式会社甚八りんご農園」の設立に至った。

葛西氏は甚八りんご農園の役割と設立の利点について以下の3点を挙げる。

- ①自分たちが作りたいりんごを作れること
- ②お客様に生産者の顔を見せられること
- ③りんご加工品開発の専門部隊をつくりやすいこと

今後は、SNS等のツールを活用して、ストーリー性をもったりんごの栽培や、地元の企業や大学と連携して行う「りんごの可能性を広げる」加工品開発の取り組みを積極的に発信していきたい、と語る。



このように様々な事業を行っている葛西氏だが、同友会の「経



営指針を創る会」のおかげで5年後、10年後の中長期ビジョンを描けるようになったと話す。地域に根差し事業を続けていくためには10年先のわが社の未来を見据えて行動することが大切で、中長期ビジョンは会社を動かし、社員の未来も幸せにできる大切な指針だと語る。

マルジンサンアップルのホームページを訪れると、葛西氏が「ワクワランド」と名付けたイラストが目飛び込んでくる。このイラストは葛西氏が思い描く10年後の地域の姿であり、マルジンサンアップルと甚八りんご農園の今後10年間の行動指針でもある。自分たちを育んでくれた地域を「ワクワランド」のような、りんごを中心に活気あふれる町にしていきたいという想いでこれからも葛西氏は邁進していくだろう。



記…加藤 人士



もっと素敵に環境創造

総合建設業
株式会社 **大坂組**

〒030-0933
青森市大字諏訪沢字岩田51-1
電話 (017) 726-2461
FAX (017) 726-7009
運輸部 (017) 726-7007

漁業と飲食業で地元を元気に

株式会社漁善

専務取締役 **相馬大希** さん

酒游海峡 善 むつ市田名部町 3-4 電話：0175-22-7233
 海峡食堂 善 下北郡東通村岩屋往來 47-1 電話：0175-47-2080
 社員 10名

相馬大希さんは東通村出身で高校卒業後、漁師として働き、あることがきっかけで2006年に東通村に『海峡食堂 善』、2010年むつ市に『酒游海峡 善』をオープンしました。その後、むつ市で多店舗展開して3店舗まで増やし、2018年には自社ビルを建設して3店舗を統合しました。現在も漁師と食堂・居酒屋経営の二足のわらじを履きます。ちなみに「善」の由来は父や兄の名前から貰ったとのこと。



食堂・居酒屋を始めるきっかけ

大希さんは漁で獲れても市場に出せない魚をどうするか悩んでおり、最初は地元の知人にあげていましたが、「こんなにいいものをたくさん貰ってしまうと、お返しができない」という話をされて、それだったらその魚を使って食堂を作ったらどうかと考え、海峡食堂 善をオープンしたそうです。周辺に食堂も少なく、尚且つとれたての魚を比較的安価に提供できるという事から評判を呼び、たくさんのお客様が来てくれるようになったそうです。

その後大希さんは食堂の経験を活かし、むつ市内に魚料理をメインとした居酒屋が無いことに目をつけ、『酒游酒場 善』をオープンさせます。もともと多店舗展開したいと考えていたことから、同市内に新店舗として寿司店、焼き鳥メインの居酒屋の順に店舗を増やしていったそうです。

しかしお店が賑わうにつれて、1つ1つの店舗が小さく、たくさんのお客様を迎えることができないという課題や、賃貸の店舗で営業していることなどを考え合わせた結果、自社ビルを建ててしまった方が今後のために良いという結論に至り、2018年の3店舗統合を果たします。課題だった客席数も3店舗を合

計した数より多くなり、結婚式の2次会や大人数の宴会まで対応できるようになりました。

食文化の流行りと強み

居酒屋を始めた2010年頃は日本では健康志向の食べ物が行き、魚料理自体が注目されていたため、絶好のタイミングで始めることができました。しかし大希さんはこの居酒屋に行っても出てくる魚料理は同じようなものばかりだと感じていたといいます。そこで差別化を図るために、漁師の強みを生かして珍しい魚や地元でしか食べられない魚をピックアップしてメニューを構成し、地元の食文化をふんだんに取り入れたメニューを作ったそうです。



● モニュメント
● デザイン
● ネオン
● サイン

ART DESIGN
株式会社

アイサイン

Call 0172 62-5508 Fax 62-5516
 Office 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢西花岡82-1
 URL <http://www.ai-sign.com> MAIL aisign@infoaomori.ne.jp

私たちはエネルギーを追求し、くらしのゆとりを育てる企業を目指します。

ササキ石油販売株式会社

SASAKI

本社：十和田市大字奥瀬字小沢口425-3
 ☎0176-72-2026(代) sasaki-gs.com

十和田湖町CS (0176-72-2026) A.M.1CS (0176-25-2311)
 車検・東北運輸局認証自動車整備工場・LPガス・灯油・重軽油
 各種住宅設備機器・水道設備工事・太陽光発電システム

委員会活動紹介

経営指針委員会

委員長 附 田 久 志
(株)青北建設・代表取締役社長

今年一年を振り返って

今年から新たに立ち上げた経営指針委員会、最大の目的は経営指針を創る会で指針書を創った会員さんに毎年更新して頂くための運動です。もう一つは「経営指針を創る会」のバックアップです。折角指針書を創っても絵にかいた餅のように飾っておくだけではもったいない！「継続こそ最大の効果なり」の意気込みで活動してきました。指針書があるかどうか？継続しているかどうか？を中心としたアンケートも実施しました。指針書を各会員さんに創って頂く、そして継続して頂く比率を上げていくことを次年度からの目標とし、各支部との合同で行った例会



を更に発展させていきます。本年度は各支部長さんに多大なご協力を頂きました。ありがとうございました。ごさいま

共同求人委員会

委員長 花 田 仁
鈴木建設工業(株)・代表取締役社長

2021年度活動方針である「採用活動のオンライン化」「Win g 2023の発行」「インターンシップ事業」は、コロナ禍での活動でした。「社員共育の一環として大きな成果」と言うインターンシップはあらためて「共育」を感じました。また高教研（高校専門委員会）での活動報告は、コロナ感染拡大により中止となりましたが1月の校長協会での報告は、日頃の担当教諭のみならず、学校トップに報告できた事は今後につながると思えます。最後に、企業情報冊子Win g



2023を通して地域に選ばれる企業を目指し続けたいと思えます。

社員共育委員会

委員長 石 澤 暁 夫
(株)エーアイサイエン・代表取締役

社員共育委員会では昨年開催した「中堅社員ステップアップ研修についての振り返りをし、参加者の意見を集約しました。「従来の研修と違って新鮮だった。継続したい。岡部さん、宮本さんの講座運営が良かった。中堅社員研修を中心として一般社員、幹部社員研修に展開していきたい」さらには「ステップアップのために今回の受講生同士が学べる同窓会のような機会をつくり、そこで振り返り、各自の実践を持ち寄る場があれば良い」などという発展的、積極的な意見もありました。これらを参

考に次年度に向けての計画を立てていき個人のスキルを上げ、会社の発展のための人材育成に寄与していきたいと思えます。



産業廃棄物収集運搬・処分業
 建築・土木・管工事業



青森県上北郡東北町字柳沢59番地21
東管工業株式会社
 代表取締役 蛸 沢 宮 行

TEL 0175-63-4450
 FAX 0175-63-4467

委員会活動紹介

共に生きる 障がい者問題委員会

副委員長 蛭 沢 孝 行
東管工業(株)・取締役

共に生きる障がい者問題委員会では今年度、障がい者雇用への関心を高める活動を中心に行いました。夏から秋にかけて開催したシリーズセミナーでは障がいをもった人が一般企業に就職するまでの流れを学んだ後、送り出す側の特別支援学校の取り組みへの理解、そして就労支援施設を訪問して実際に障がいをもった利用者とのトークセッションを行いました。新年度以降もこの取り組みを継続して障がい者雇用への理解と雇用の拡大に貢献していく予定です。



広報委員会

委員長 大 和 英 樹
(株)マルヤマ・代表取締役

広報委員会では、昨年12月22日に委員会を開催し、DOYUあomorい(3月号)に掲載する内容と広報委員会の体制ついて話し合いを行いました。今回の企業紹介のテーマは前回に引き続き販売戦略や人材育成について取材することに決定し、津軽支部と下北支部の会員に取材を行っています。今後の取り上げたいテーマとしてSDGsや事業継承という意見も出ました。委員会の組織体制については、現在副委員長を定めていない為、今後組織強化のためにも副委員長を決める方向で検討しています。



女性部会

部会長 岩 木 節 子
(有)岩木建設・専務取締役

初春の1月7日に三沢市の(有)ダイワ自動車商会の常務取締役の大野晶子氏の報告例会「どちらを選ぶかは自分次第。自分の幸せは自分次第」が開かれました。

大学卒業後、県外企業での勤務を経て実家が経営をする会社の後継者として入社した大野さん。以前に勤務していた会社の形態と自社を比較し中小企業は業務の兼任が多いという違いを感じ、対策に乗り出します。更に、後継者として入社し社員との関わり方や自分が目指す理想を理念に掲げているといます。ライフスタイルのお話の中に、その時の気持ちをノートに書き記し、後に見直すと自分の変化がわかるというお話もあり、自分自身を客観的に見つめて次の行動を決め、自分を創り上げる芯の強さが参加者の共感を得ていました。



A+SETU
水の問題、迅速解決!!
もう、水まわりの心配はさせません。
☎ 017-766-2421

私たちは、夢と安らぎのある生活空間創りをもって
地域に貢献します。
鈴木建設工業株式会社
〒033-0062 三沢市新町三丁目31番地2201
tel. 0176-53-3078 fax. 0176-53-9800 suzukikensetsu.co.jp

雇用拡大について職業評価(アセスメント)から考える

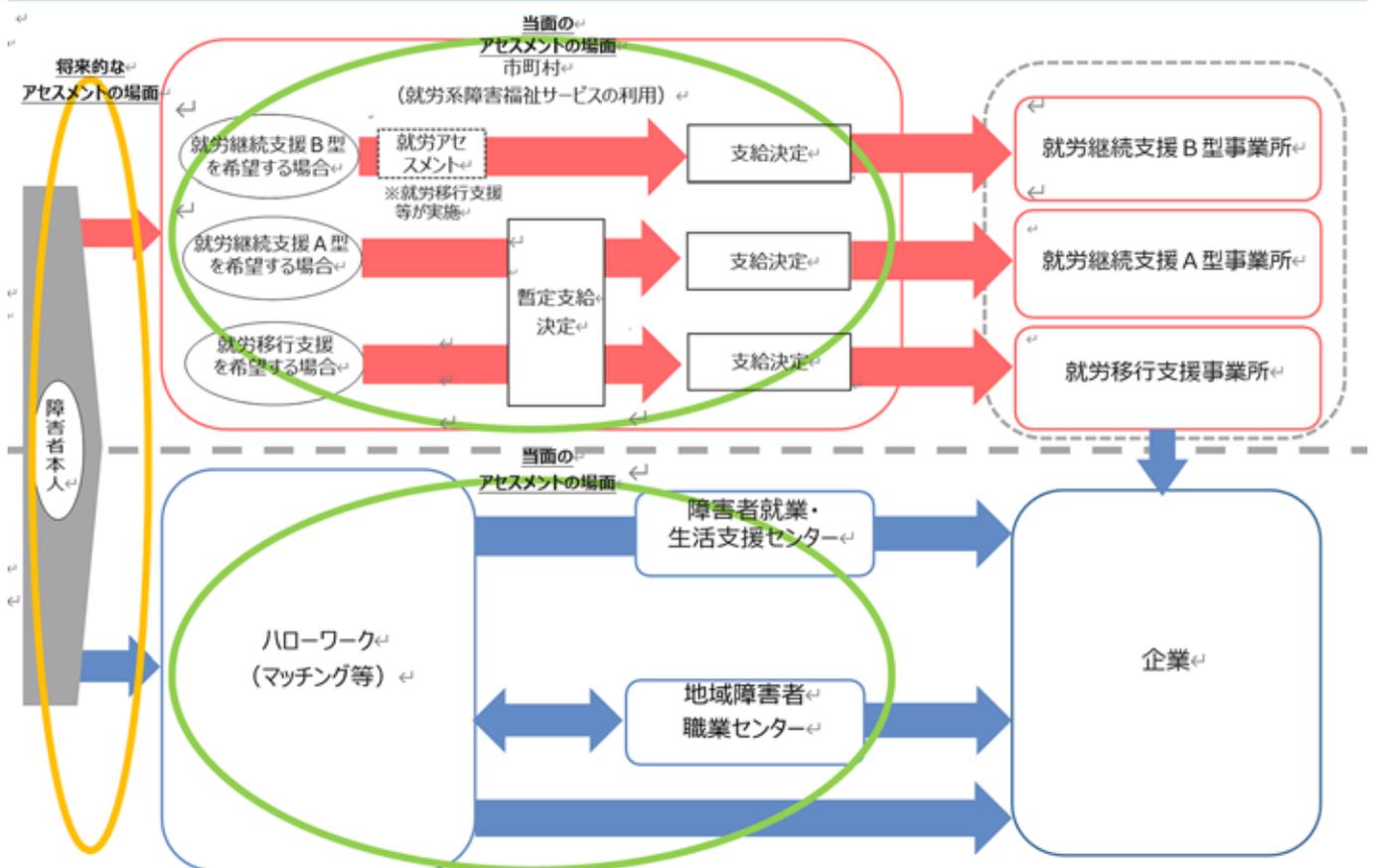
社会福祉法人 義栄会 今村 健

私は普段「福祉的就労」とよばれる障害者施設の現場で働いています。障害者雇用を考えている企業に対して「働ける障がい者」という人材を提供する側にいることになります。企業が障がい者と会い、継続して雇えるかを考えて制度や機関を使って判断していく過程に、どんなお手伝いできるかを考える側ともいえます。

ハローワークや障害者就業生活支援センター、障害者職業センターなどの機関が企業に対して直接支援しています。一方で、就労継続支援事業所、就労移行支援事業所という福祉サービスの事業所において、障がい者の障がいの特徴など企業側に求める「合理的配慮」の内容を障がい者と支援スタッフとで確認していく過程があります。どんな場面で、どんなサポートを受ければよいのかを支援側と本人が理解して、企業実習のような場で実践し実感していく過程です。合わせて、企業が労働者に求めることを、自分の力でできる限り達成していくという障がいのハンデではない部分、自分自身で頑張らないといけない部分も実感していく過程になります。

そのような職業評価(アセスメント)といわれる部分に不足があることが、ここのところ再認識されています。専門機関である就労支援機関において、職業評価の質が上がることで雇用拡大につながっていくと考えますし、企業実習の場を提供していただける企業に対して報いることだと感じています。

現行の障害者就労支援の流れのイメージ (就労系障害福祉サービスの利用 又は 一般企業への就職まで)



お試し入店スマホアプリ
ぶらりん@タウン
Burarin

気になっていたお店や
行ったことのないお店で
「ぶらりんセット」を
頼んで、お試し体験!

まずは
ホームページを
チェック!



お問合せ

株式会社サン・コンピュータ 青森県八戸市北インター工業団地一丁目5番10号
Web <http://www.sancom.co.jp/> TEL 0178-21-1255

青森県中小企業家同友会 2022 新春例会 from 八戸

青森県中小企業家同友会

2022新春例会

From 八戸 実行委員長

株式会社島守ダクト

代表取締役 島守 英樹

今年も新春例会にご参加いただき、誠にありがとうございました。実行委員を代表して御礼申し上げます。

さて、昨年の11月より新春例会開催の為、実行委員会を立上げ準備を重ねて参りました。委員会立上げ当初は講師の根岸社長を八戸にお招きし、リアル開催でいこうと計画しておりまし

たが、年が明けからオミクロン株の感染が拡大し、やむなくオンライン開催となってしまいました。ゲストの皆様、同友会々員に皆様におかれましても、開催方法が二転三転にてしまい、不安だったことと思います。実行委員長としての判断能力不足があり、至らないところがあつたこと、深くお詫び申し上げます。

しかしながら、実行委員メンバーや事務局の皆様のお借りし、多数のゲスト様、会員の皆様にご参加して頂き、当日の開催に至ったことを大変うれしく思っております。新春講演は株式会社ねぎしフードサービス 代表取締役社長の根岸榮治さまから「困難に打ち勝つ強靱

な組織づくり 100年企業への理念経営と人材共育P D C A」と題してご報告頂きました。数々の困難を乗り越えることが出来たエピソードやたくさんのキーワードから、参加された皆様にも一つでも多くの気づきを得ていただき、自社の事業発展のヒントしていただければと思います。今回は実行委員長という大役を頂きましたが、同友会の皆様に支えられ素晴らしい例会のなったのではないかと思います。各支部の皆様におかれましても、開催に際しまして多大なご協力を頂き誠に有難うございました。



な組織づくり 100年企業への理念経営と人材共育P D C A」と題してご報告頂きました。数々の困難を乗り越えることが出来たエピソードやたくさんのキーワードから、参加

▼室長を務めた木村美栄子さん



▼座長を務めた久保直樹さん



新春例会 from 八戸 新春講演

テーマ

100年企業への経営理念と

人材共育 PDCA

株式会社ねぎしフードサービス

代表取締役社長 根岸榮治 氏



1969年、出身地の福島県いわき市で飲食店を開業しました。その当時の経営法は都会で流行っている飲食店の業態を地方へ持つてくるという狩猟型経営。初めはどの店も繁盛しましたが流行を求めた店は陳腐化も早く、開業、閉店、新規採用、解雇を繰り返していました。また、それが経営だと思っていました。あの時、ある店舗のアルバイトを含む全ての従業員が店を辞め、近くで同業態店を開業しました。悔しさ、怒り、いろいろな感情が溢れてきましたが時間が経つにつれ、自分は働く人を道具と考え、必要がなくなれば手放す、お金だけのつながりの関係だったことに気づきます。経営理念やビジョン、思いを共有することや、商品開発や社員教育、特に社員を大事にするこの大切さに気づかされ反省しました。その後、考えを改め、出店戦略も同一業態・同一地域に切り替え、「牛たん・とろろ・麦めし専門店 ねぎし」を新宿にオープンさせたのが1981年です。

現在、41店舗、働いている人は約1700人ですが、その9割はアル

バイトです。明確な想い（経営理念やビジョン）を示し共有し、そこを目指して常に考えて行動できる社員を教育・育てていくことが不可欠と考えています。

時代の変化で価値観にも変化が出てきています。人口減少・マーケット縮小になるとより「質」が重要となってきます。例えば、今の時代どのお店に行ってもそれなりに美味しい満足できる。結果では差別化できない。ならばプロセスで差別化していかなければならない。「お客様に立って」の絶対的な価値を追求していかなければならず、商品・サービスの品質と価値の提供だけではなく、どのような人の手によってどのような形でお客様まで届けられたかのプロセスが提供価値を生み、企業の信頼・信用・安心へと繋がると考えています。

それらを生み出すのは社員であり、日々の仕事内で成長していく、それに伴い会社の成長にもつながっていく、経営理念を具現化する仕組みを数多く持っています。（例：「5つのコミュニケーション」「7つの基本行動」「ねぎしの5大商品

ニッポンの窓をよくしたい



MADO ショップ 八戸青葉店

MADO ショップは、納得できる窓リフォームのお店です。

株式会社 幾久屋

〒031-0804 青森県八戸市青葉三丁目32-17
TEL 0178-43-1192 FAX 0178-43-1104



有限会社 カワシタ電業

電気工事 消防施設的设计、施工

むつ市中央2丁目21-1
TEL.0175-29-5611

釜臥山展望台からの眺め「アゲハチョウの夜景」

(Q.S.C&H.A)を提供し続ける」

経営理念は社員の思いや方向性を揃えるための枠であり土台で一番大事です。その実現に向けて経営目的（ビジョン）の第一に掲げているのは「働く仲間

の幸せ」、そして仕事の目的として「お客様の喜びと満足を得る」ことを目指しています。私たちの給与は、お客様の喜びと満足から生まれることを自覚し、一つ一つの行動が「お客様の喜びと満足を得る」につながっているかを自律的に考え行動できるようにになると、作業から仕事へと変化していきます。

それらは講習やコンテストによるサービス、技術のレベルアップ、内外に対してのアンケート調査をもとにした改善、教育をPDCAで各人が仕事を通じて自身の成長や喜びを感じられる仕組みづくりが大事です。加えて自分の仕事がお客様だけでなく地域や社会にも役立っているという実感を持てるようになることより良いです。

全ての働く仲間を大切にし、

やる気と能力を引き出すため、風通しの良い風土と成長するための学習機会を提供する社員重視の考え方はねぎしの強みであり、人の成長を促進し結果として企業の成長へと繋がると考えています。

ねぎしの経営目的の2つ目と3つ目は「日本のとろろ文化と日本の農業に貢献します。」と「おいしい味づくりで楽しい街づくり」です。日々私たちは経営理念そのものを体現し、仕事を通して私たち自身、成長していくこと、その積み重ねがお客様の信頼となって日本の農業や生産者、地域・社会への貢献につながっていく。それがねぎしの存在意義と考えています。

いつの時代もお客様や働く仲間から、「この街にねぎしがあつてよかった」と思っていただけの「人が育ち、人が集まると100年企業」へとつなげていきたいと思えます。



Oct, 有限会社 オクト

青森県知事許可(般-24)第100121号
〒030-0852 青森市大字大野字鳴滝87-14
TEL:017-762-5223 FAX:017-762-5224

◆事業内容◆

- 内装仕上工事(軽鉄・ボード・床・クロス)
- タイル・石工事
- ビル・住宅リフォーム工事

Welcome to DOYU!

新会員紹介



【青森支部】
(株) C-PLAN
代表取締役
千代谷 一寿

年間120棟実績の設計事務所と、建築工事請負工務店の二刀流です。
よろしくお願いいたします。

〒030-0843 青森市浜田玉川195-17
TEL:017-753-2427 FAX:017-772-7677
URL:<https://cplan-build.co.jp/>



【上十三支部】
(株) エンジョブ
専務取締役
山本 千夏

「地域の人事部=エンジョブ」を目標に、人材派遣や職業紹介、
請負や教育セミナー運営などの事業を行っています。

〒033-0001 三沢市中央町2-8-34 スカイプラザミサワ 3F
TEL:0176-51-3440 FAX:0176-51-3441
URL:<https://www.ejb.co.jp/>



【上十三支部】
ボディバランスケア amon
代表
小野 美保

amonは整体施術を通して、人間の持つ本来の自然治癒力を高め、心身共に癒し、笑
顔でご家庭や社会に戻られるお手伝いをする事や、自分の体と心を大切にする事、
ストレスと食事もたらす身体への影響を伝えていく事を大切な使命としています。

〒034-0001 十和田市大字三本木字稲吉 15-221
TEL:0176-58-6441 FAX:0176-27-1190
URL:<https://amon-towada.com>



【八戸支部】
フィリップ・モリスジャパン (同)
八戸営業所
八戸ユニット営業所長
金 亮一

フィリップ・モリス社製品のマーケティング・販売促進活動を行っていま
す。「煙のない社会をここ日本で」をビジョンに掲げ、変革に取り組んでい
ます。喫煙環境ソリューションでより良い労働環境構築にも貢献します。

(本社) 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-11-1
TEL: 03-3509-7990
URL: <https://www.pmi.com>

随時 会員募集中!

*** 編集後記 ***

コロナウイルスの影響で会食がめっきり減り、体が
どんどん健康になってきている今日この頃です(笑)。
いろんなことが制限されてネガティブな空気になりが
ちですが、前向きにとらえて今しかやれないことに取り
組んでみてはいかがでしょうか?という事で、広報
委員会に入って新しい活動をしてみたいという会員さ
んを絶賛募集しております!


株式会社 ローズリー資源 <http://www.rozure.com/>
廃棄物業・総合リサイクル業
 本 社/〒030-0955 青森県青森市大字駒込字深沢5-303
 TEL 017-744-0575 FAX 017-744-0579
 南部支店/〒039-1524 青森県三戸郡五戸町大字豊間内字地藏平1-578
 TEL 0178-38-9294 FAX 0178-38-9295